

第137回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成19年8月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,081	-1.23	0.44	4,069	-0.24	0.54
東部地区	14,352	-0.11	0.00	5,557	1.12	-0.05
西部地区	10,778	0.03	-0.01	3,946	2.22	0.48
駅南地区	6,436	1.13	0.20	2,625	2.10	0.42
半田地区	3,547	1.95	1.02	1,287	3.29	0.70
横山地区	5,675	0.21	-0.36	1,843	1.31	-0.59
茨目・田尻地区	6,912	-0.14	-0.41	2,303	-0.21	-0.86
荒浜地区	5,253	-0.45	-0.51	2,006	0.95	-0.64
その他地区	21,740	-1.67	-0.25	7,205	-0.78	-0.19
西山町地区	6,547	-2.19	-0.33	2,151	-1.10	-0.04
高柳町地区	2,072	-4.69	-0.76	853	-2.40	-0.35
柏崎市計	93,393	-0.68	-0.08	33,845	0.50	-0.01
刈羽村	4,984	-0.47	-0.14	1,512	0.59	-0.06
小国地区（長岡市）	6,660	-1.49	0.09	2,150	0.00	0.00
出雲崎町	5,373	-1.82	-0.20	1,823	-0.70	-0.16
合計	110,410	-0.77	-0.08	39,330	0.42	-0.02

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で下回り、全体で865人、0.77%の減少となっている。なお、市町村・地区別では柏崎市が640人、0.68%、刈羽村が24人、0.47%、小国地区（長岡市）が101人、1.49%、出雲崎町が100人、1.82%とそれぞれ減少している。

また、前月比においても、柏崎市が78人、0.08%、刈羽村が7人、0.14%、出雲崎町が11人、0.20%と減少していることから、全体では90人、0.08%の減少となっている。

一方、世帯数は前年同月比で柏崎市が169世帯、0.50%、刈羽村が9世帯、0.59%と増加したことから、全体では165世帯、0.42%の増加となった。

また、前月比においては、柏崎市が4世帯、0.01%、刈羽村が1世帯、0.06%、出雲崎町が3世帯、0.16%と減少したため、全体では8世帯、0.02%の減少となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,224		6.43		10.56	
月間有効求職者	1,093		-12.97		2.72	
月間有効求人倍率	1.12	1.00	0.20*	-0.09*	0.08*	0.07*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では月間有効求人数が1,224人と前年同月比で74人、6.43%の増加、前月比でも117人、10.56%と増加している。

一方、月間有効求職者数は1,093人と前年同月比で163人、12.97%の大幅な減少となったが、前月比では29人、2.72%の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.12倍と前年同月比で0.20ポイント上回り、前月比でも0.08ポイント上回っており、県平均1.00倍に対しても0.12ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が558人と前年同月比で180人、47.62%の大幅な増加、月間新規求職者数も362人と前年同月比で15人、4.32%と増加した結果、月間新規求人倍率は1.54倍と前年同月1.09倍を0.45ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成19年8月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	0	-49	-7	93	-102
共 同 住 宅	0	-2	-1	7	3
事 務 所	0	0	-1	3	1
作 業 所 ・ 工 場	0	-2	-1	10	-2
営 業 建 物	0	0	-2	13	-2
公 共 建 物	0	0	0	1	-4
そ の 他	0	-9	-1	41	-32
合 計	0	-62	-13	168	-138

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、「中越沖地震」の影響から柏崎市役所での8月の建築確認申請は一切受けなかったため、申請件数は発生していない。

ただし、民間への建築確認申請を行なわれているが、従来から本表には統計していない。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,401	-0.21	-0.43	17,734	-8.60	20.49
電 力	12,033	-4.37	-2.03	48,482	-8.23	12.09

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で140口、0.21%の減少、前月比でも279口、0.43%の減少となった。一方、電力でも前年同月比で550口、4.37%の減少、前月比で250口、2.03%の減少となっている。

使用量においては、引き続き「中越沖地震」の影響から、電灯が前年同月比で1,669kwh、8.60%の減少となり、前月比では3,016kwh、20.49%と増加している。一方、電力においても前年同月比で4,348kwh、8.23%の減少、前月比では5,232kwh、12.09%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	368,551	-59.39	-61.94	226,702	-71.37	-68.32
営 業 用	181,889	-34.79	5.34	51,782	-67.54	-57.67
工 場 用	646,233	11.15	42.68	72,421	-55.55	-40.52
官 公 学 校 用	396,746	-24.50	87.39	52,001	-53.96	-28.94
そ の 他				0	-100.00	-100.00
合 計	1,593,419	-30.52	-11.75	402,906	-67.18	-61.06

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域のガス供給量は、8月も「中越沖地震」の影響から、用途全体では前年同月比で700,192m³、30.52%、前月比でも212,248m³、11.75%と大幅な減少となった。また、用途別内訳を見ると、特に家庭用で前年同月比、前月比共に大幅な減少率を示している。

一方、水道給水量も同様に、用途全体では前年同月比で824,779m³、67.18%、前月比でも631,850m³、61.06%と大幅に減少しており、用途別内訳においても、全ての用途で前年同月比、前月比共に大幅な減少となっている。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	120,153	25.55	-3.16	96,328	-5.56	7.57
西 山	93,859	59.11	1.50	96,200	61.19	-1.34
米 山	67,473	67.71	40.47	73,380	99.92	27.52
合 計	281,485	44.41	6.39	265,908	34.03	8.71

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、引き続き「中越沖地震」による影響から、入口が全体では前年同月比で86,568台、44.41%の大幅な増加、前月比でも16,908台、6.39%の増加となっている。

一方、出口においても、全体では前年同月比で67,515台、34.03%の大幅な増加、前月比でも21,308台、8.71%の増加となった。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では柏崎インターの出口で減少、前月比では柏崎インターの入口と西山インターの出口で減少となったほかは全て増加となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	337,503	3.10	1.24	137,573	0.58	0.47
平 残	334,675	1.51	1.35	136,372	0.29	0.33

預金は、末残が前年同月比で10,150百万円、3.10%の増加、前月比でも4,163百万円、1.24%の増加となった。また、平残においても前年同月比で4,992百万円、1.51%の増加、前月比でも4,479百万円、1.35%の増加となっている。

一方、貸出金は末残が前年同月比で799百万円、0.58%の増加、前月比でも650百万円、0.47%の増加となり、平残においても前年同月比で407百万円、0.29%の増加、前月比でも460百万円、0.33%と増加している。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,424	-11.19	-7.44
交 換 金 額	4,067	-16.66	-23.04
不 渡 り 手 形 枚 数	0	-100.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	-100.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎市内の手形交換高は、「中越沖地震」の影響から交換枚数が前年同月比で684枚、11.19%、前月比でも436枚、7.44%と減少している。また、交換金額においても前年同月比で813百万円、16.66%、前月比では1,218百万円、23.04%と共に大幅な減少となった。なお、不渡手形は4カ月連続で発生しておらず、前年同月比で2件、2百万円の減少となっている。

当月の法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は8件（前年同月3件、前月4件）、負債総額48億円（同5億円、同36億円）、1件当たりの負債額6億円（同1億円、同9億円）となっている。

県内地区別では下越地区4件（新潟市2件、燕市2件）、中越地区1件（柏崎市1件）、上越地区3件（上越市2件、糸魚川市1件）となっている。業種別は建設業1件、販売業4件、サービス業・その他1件で、倒産原因別の状況は販売不振6件、業界不振1件、その他1件となっている。

県内企業倒産は、大型倒産（負債10億円以上）が1件、負債総額32億円発生している。倒産全体では前年同月比で件数は5件増加、負債総額では43億円の増加となり、前月比では4件の増加、負債総額は12億円の増加となっている。

当月で今年の倒産は45件となり、既に昨年合計の41件を上回っている。「中越沖地震」関連による倒産は発生していないものの、今後は大手業者との競争や資源高の影響等により、競争力の劣る中小零細企業の体力が疲弊していくことは避けられそうになく、厳しい状況が当面続くことが予想される。